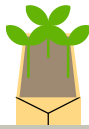


こんなに簡単!



# ダンボール箱を使って 堆肥をつくらう!

ダンボール箱を使った生ごみの堆肥化は、手軽に始められる方法として、手稲区で推奨しています。できた堆肥は、安全な肥料として、お使いいただけます。みなさんもぜひ始めてみてください。



**① ダンボールを組み立てよう!**

ダンボールの上ふたを立て、四隅を紙のガテープでとめる。底にダンボールを敷いて補強すること。

残りのダンボールでふたを作ろう! 通気性を考えて、床や壁から5cmほど離して置くのがポイント!

**② 基材を入れよう!**

もみがらくんぼんとポットモスを2対3の割合で、ダンボール箱の半分くらいまで入れ、よく混ぜ合わせよう。

温度変化を確認する。温度計を置いておく。

室内温度 15℃以上

**③ 生ごみを入れよう!**

調理クズや食べ残し、茶殻やコーヒーがすはOK!

生ごみを入れ、よくかき混ぜて、しっかりふたをする。1~2週間ほどで30℃台まで温度が上がるよ。

豚骨や貝殻、トウモロコシの芯はダメ!

イカゴロは臭いが出やすいので要注意!

生ごみの量は、初日は多めに(1kg)、2~10日までは少なめに(500g程度)入れるといいよ。

生ごみは細かく切った方がgood!

**④ 堆肥として使おう!**

3か月ぐらい続けたら生ごみの投スをやめる。1週間くらいかかはんだけして同量の土を混ぜ合わせよう。

さらに1~2か月程度寝かせたら堆肥として使えるよ!

できあがり

## 他にもあります、堆肥化の方法

### ■コンポスター

大きなバケツのようなプラスチック製容器を使い、生ごみを土に接触させて土の中の微生物やミズなどの働きを利用する方法です。冬は使用しにくいのが難点。



### ■密閉式容器

密閉式の容器で嫌気性の微生物の活動を利用する方法です。虫が発生しづらなのが特徴。



### ■電動処理機

かくはんしながら電気で加熱し、生ごみを乾燥させて減量する乾燥型と、微生物の活動によって生ごみを分解するバイオ型があります。



## ダンボール箱による堆肥化についてのお問い合わせ先

循環(くるくる)ネットワーク北海道  
北区北7条西1丁目1-11 パームハイツ札幌201  
TEL/709-5751 午前11時~午後3時  
毎週月曜日~金曜日(祝日・年末年始は除く)

リサイクルプラザ宮の沢  
西区宮の沢1-1 ちえりあ1階  
TEL/671-4153 午前10時~午後6時  
休館日/毎週月曜日(祝日の場合は翌日)・年末年始

